

国語科学習指導案

海田町立海田小学校

- 1 日 時 平成29年11月1日(水) 第5校時
- 2 学 年 第1学年1組(男子9名 女子20名 29名)
- 3 場 所 海田小学校 1年1組教室
- 4 単元名 どくしょゆうびんをしよう 「おとうとねずみ チロ」
- 5 単元について

(1) 単元観

本単元は、第1学年および第2学年の「読むこと」の指導事項「エ文章の中の大事な言葉や文を書き抜くこと。」及び「オの文章の内容と自分の経験とを結び付けて、自分の思いや考えをまとめ、発表し合うこと。」の内容を受けて設定したものである。本単元では、学習指導要領の言語活動例(2)「オ 読んだ本について、好きなところを紹介すること。」を言語活動として位置付け、どくしょゆうびんを行う。どくしょゆうびんでは、同学年の友達に自分の好きな本の好きな登場人物、好きなところを紹介することを目的としている。はがきを書くことを通して、想像を広げながら読み、登場人物の行動を追いながら、自分の考えをまとめる力を身に付けるとともに、どくしょゆうびんのやり取りを通して、読書への関心を高めることをねらいとする。

教材文「おとうとねずみ チロ」は、登場人物のチロの行動や気持ちを中心に描かれた物語であり、会話文や反復表現に表された思いに共感を覚えながら読み進めていくことのできる教材である。行動や会話文の叙述をもとに様子を思い浮かべながら、チロの気持ちや考えを読み取り、動作化したり、感想を話し合ったりする活動が仕組みやすく、そこで学習した読み方を活かして読書の楽しみを広げることができる教材である。

(2) 児童観

本学級の児童は、これまでに、教材文「こんこととん」「おおきなかぶ」「かいがら」「サラダでげんき」の学習をしてきている。「こんこととん」「おおきなかぶ」では、動作化して登場人物の行動を読み、その時の気持ちや様子を想像しながら音読で表現した。「かいがら」「サラダで元気」では、行動、会話文から場面の様子を話し合い、叙述を根拠に好きな登場人物の気持ちを想像を広げて考える学習をしている。他教科でも理由を付けて話すということを授業の中で意識して取り組んでいる。

9月上旬に行ったアンケートにおいて、「本を読むことが好きですか？」という項目では、96%の児童がはいと答えている。その理由は、いろんな登場人物が出てくるから、新しいことが分かるから、いろんな話になっておもしろいからなどがあつた。また、「本を読んだ後、思ったことを友達や家の人と話すことがありますか。」という項目では、68%があると答えている。さらに「本を読んだ後、思ったことを友達や家の人と話したいと思いますか。」という項目では、75%の児童が、はいと答えている。このことから、読んだ本について人に伝えたいという思いをもっている児童は多いことが分かる。一方で、消極的な考えをもっている児童も25%おり、自分の考えを表現することが難しい児童が多い。

「かいがら」の授業では挿し絵を頼りに、好きな所を選ぶことは全員ができていた。しかし、その理由は、「やさしいきもちだから」「ここにこしているから」と挿し絵からの情報が大きく、叙述に即して読み取る力はまだ十分ではない。

(3) 指導観

指導に当たっては、以下の3点に留意して学習を進めていく。まず1つ目は、児童にとって主体的な学びになるようにすることである。そのために、自分の読みを相手に分かってもらうために、読書郵便にするとする目的意識を常にもちながら学習を進めていきたい。そこで、課題設定にあたって、「どくしょゆうびん」のモデル文を示し、自分が好きな本を選んで「どくしょゆうびん」で紹介する。色々な本を読んでお気に入りの一冊を選びたいという意欲をもたせる。その際、意欲を高めるための手立てとして、掲示物の工夫や教室の図書環境を整える。2つ目は、かかわり合いながら読むことである。好きな所を抜き出すだけでなく、なぜそこが好きなのかという理由をチロの行動や会話をもとに語ることで、想像を広げ、自分だけでは考えられなかったことに気付くことで、読書したことについて、話し合う楽しさを味わえるようにしたい。3つ目は、語彙を増やすことである。自分の思いを感情を豊かに表現できるように、感情の表現がさまざまあることなどを語彙表を活用して確認できるようにする。また、語句のクイズや語句のゲームなどで日ごろから語句を増やせるように取り組んでいく。

6 単元の目標

(1) 「どくしょゆうびん」を書くために、いろいろな物語に興味をもち、楽しんで読もうとする。

【国語への関心・意欲・態度】

(2) 自分の考えをまとめるために、文章に書かれている大事な言葉や文を書き抜くことができる。

【読むことエ】

(3) 文章の内容と自分の経験とを結び付けて、自分の思いや考えをまとめ、発表し合うことができる。

【読むことオ】

(4) 感想を伝える言葉には、さまざまなものがあることに気付くことができる。

【伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項 イ(ウ)】

7 単元の評価規準

国語への関心・意欲・態度	読む能力	言語についての知識・理解・技能
<p>【言語活動例】 オ 読んだ本について、好きなところを紹介すること ～どくしょゆうびんで好きな本を紹介する～</p>		
<p>・いろいろな物語に興味をもち、楽しんで読もうとしている。</p>	<p>・自分の考えをまとめるために、文章に書かれている大事な言葉や文を書き抜いている。(エ) ・文章の内容と自分の経験とを結び付けて、自分の思いや考えをまとめ、はがきの形で伝えている。(オ)</p>	<p>・感じたことや考えたことを伝える言葉にはさまざまなものがあることに気付いている。(イ(ウ))</p>

8 本単元において育成したい資質・能力

本校で育成したい資質・能力は、①主体性 ②自らへの自信③コミュニケーション能力の3つである。そのうち、本単元で重点的に指導したい資質・能力は次の2つである。

育成したい資質・能力	本単元の学習を通して目指す姿
主体性	単元のゴールであるどくしょゆうびんをするという目標を毎時間、持ち続けながら、意欲をもって学習に取り組んでいる。
コミュニケーション能力	友達の考えを聞き、自分の考えを広げたり、深めたりすると同時に、相手意識をもち、どくしょゆうびんで自分の考えを伝えることができる。

9 単元の学習指導計画（全11時間）

次	時	学習内容	評価			
			関	読	言	(・) 評価規準 (評価方法) (★) 資質・能力の評価 (評価方法)
一	1	<p>課題の設定 (1)</p> <p>○教師に届いたはがきを見て、「どくしょゆうびん」をすることを知る。</p> <p>○新出漢字の学習をする。</p> <p>○「どくしょゆうびん」をするための学習計画を立て、見通しを持つ。</p> <p>(※初発の感想で問いを作る)</p>	○	○		<p>・「どくしょゆうびん」に関心をもち、どくしょゆうびんをするために、教材文を読もうとしている。</p> <p>関意 (観察・ノート)</p> <p>★読書ゆうびんをするというゴールに向けて、見通しをもって学習しようとしている。㊸ (観察・ノート)</p>
二	2	<p>情報収集 (4)</p> <p>○課題①「チロだけなぜチョッキがないといわれるのか」をチロの行動や会話をもとに読み取る。</p>		○		<p>・チロの人物像を叙述をもとに説明している。</p> <p>読むエ (ノート)</p>
	3	<p>○課題②「いいことを思いついた。」とは何がいいことなのかを行動や会話をもとに読み取る。</p>		○		<p>・チロは、どんな「いいこと」を考えたのか、叙述をもとに様子を読んでいる。</p> <p>読むエ (ノート)</p>
	4	<p>○課題③「なぜ、「あり、が、と、う」と繰り返したのかをチロの行動や会話をもとに読み取る。</p>		○		<p>・チロが、喜んでいる様子が分かる文を抜き出し、叙述や自分の経験をもとに理由を考えている。読むエ (ノート、発言)</p>
	5	<p>○自分が、一番好きだと思うチロの行動と会話を「どくしょゆうびん」に書く。</p>	○	○		<p>・保護者当ての「どくしょゆうびん」にチロの行動や会話で好きな所を書きぬき、いいなと思った理由を書いている。読むオ (どくしょゆうびん)</p> <p>・感じたことや考えたことを伝える言葉にはさまざまなものがあることに気付いている。言語イ (ウ)</p> <p>★保護者に向け、自分の考えを叙述と関係付けて伝えることができている。㊹ (どくしょゆうびん①)</p>

	6	整理・分析（3） ○別教材「花いっぱいになあれ」を読み、前の学習を活かし、自分で好きなところを見付けながら読む。	○		・コンの行動や会話に着目して、自分の好きなところを見付けている。 関意 （ノート、発言）
	7 本時	○好きな理由について話し合い、コンの行動や会話を整理する。	○		・好きなところの理由を整理することで、コンの行動と会話をコンの気持ちと関連付けながら読み深めている。 読むエ （ノート、発言）
	8	○自分が、一番好きだと思うコンの行動と会話を「どくしょゆうびん」に書く。	○		・海田小学校の先生へ、「どくしょゆうびん」にコンの行動や会話で好きな所を書きぬき、いいなと思った理由を書いている。 読むオ （どくしょゆうびん） ★海小の先生に向け、自分の考えを叙述に関係付けて伝えることができています。 ㊦（どくしょゆうびん②）
三	9 10	まとめ・創造・表現（2） ○並行読書した本の中からお気に入りの本を選び、好きなところを見付ける。	○		・なぜお気に入りの本なのか、登場人物の行動や会話をもとに自分の考えを書いている。 読むオ （どくしょゆうびん） ★海田東小の1年生に向け、自分の考えを叙述に関係付けて伝えている。 ㊦（どくしょゆうびん③）
四	11	振り返り（1） ○単元全体を振り返る。 ・どくしょゆうびんをしてみてどんなことを感じたか。 ・単元の学習を通してどのような力がついたか。	○		・単元全体で、自分にどのような力が付いたのか、できるようになったこと、分かったことを書こうとしている。 関意 （ノート）
<p>★「深い学び」を実現した児童の具体的な姿</p> <p>A わたしは、どくしょゆうびんをして、本を読むことがもっとすきになりました。本の中で、とうじょう人づつが、いろんなことをしたり、はなしたりしています。その中に、ころろが動かしやすくてすきな文やことばがありました。そういうことばを見つけてよむと、登場人物の気持ちがよく分かっておもしろいと思いました。</p> <p>B わたしは、どくしょゆうびんをしました。どくしょゆうびんでは、本の中ですきなところを見つけました。本を読むときは、とうじょう人づつのことや話したことにくわいて読んで、おもしろいことがよくわかるとおもいました。</p>					

11 本時の学習（7／11）

（1）本時の目標

「はないっぱいになあれ」の文章で選んだ好きなところをもとに、コンの行動と会話から、コンの気持ちを考えることができる。

（2）本時の評価規準

「はないっぱいになあれ」の文章の中で自分が選んだ好きなところを伝えるために、文章に書かれている大事な言葉や文を抜き出し、その理由を考えている。【読むこと（エ）】

（3）準備物

どくしょゆうびん、掲示物（挿し絵）

（4）本時の展開

過程	学習活動	指導上の留意事項 (◇) (◆「努力を要する状況」と判断した生徒への指導の手立て)	評価規準 (○) 教科の指導事項 (★) 資質・能力 (評価方法)				
導入	1 前時の学習を振り返りながら音読をする。	◇単元の流れが分かる掲示物で確認できるようにする。 ◇自分が好きな所を見つけながら読んだことを振り返りながら音読できるようにする。 ◆掲示物を見れば単元で付けたい力, 何のために学習しているかが想起できるようにしておく。					
展開	2 本時のめあてを立てる。	◇児童から出たキーワードをつなげ、めあてを立てる。					
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>めあて (すきなところを○○先生に分かりやすく伝えるために) すきなところがなぜすきなのかはなしあい、ゆうびんカードにかきたいことをきめよう。</p> </div>							
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 25%; padding: 5px;">3 自力解決で、自分の考えをまとめる。</td> <td style="padding: 5px;">◇短冊に、自分の好きなところを書きめかせ、理由を考える。 ◇3人グループで、理由を交流する時間をとる。 ◆難しい児童には、語彙表を参考にしながら、自分の気持ちに合うものを選ぶよう机間指導する。</td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;">4 集団解決で、好きなところ、その理由を話し合う。</td> <td style="padding: 5px;">◇教科書のどの部分からどのように考えたのかを話せるように補助発問をする。 ◇「金いろの花だ。お日さまの花だ・・・」のコンの会話文に焦点を当ててコンの気持ちを話し合う。 ◆話し合いの流れについていけない児童のために、挿絵を示しながら話すように補助をする。</td> </tr> </table> </div>				3 自力解決で、自分の考えをまとめる。	◇短冊に、自分の好きなところを書きめかせ、理由を考える。 ◇3人グループで、理由を交流する時間をとる。 ◆難しい児童には、語彙表を参考にしながら、自分の気持ちに合うものを選ぶよう机間指導する。	4 集団解決で、好きなところ、その理由を話し合う。	◇教科書のどの部分からどのように考えたのかを話せるように補助発問をする。 ◇「金いろの花だ。お日さまの花だ・・・」のコンの会話文に焦点を当ててコンの気持ちを話し合う。 ◆話し合いの流れについていけない児童のために、挿絵を示しながら話すように補助をする。
3 自力解決で、自分の考えをまとめる。	◇短冊に、自分の好きなところを書きめかせ、理由を考える。 ◇3人グループで、理由を交流する時間をとる。 ◆難しい児童には、語彙表を参考にしながら、自分の気持ちに合うものを選ぶよう机間指導する。						
4 集団解決で、好きなところ、その理由を話し合う。	◇教科書のどの部分からどのように考えたのかを話せるように補助発問をする。 ◇「金いろの花だ。お日さまの花だ・・・」のコンの会話文に焦点を当ててコンの気持ちを話し合う。 ◆話し合いの流れについていけない児童のために、挿絵を示しながら話すように補助をする。						
<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・「へええ、びっくりした。ほく、こんな花、はじめて見たよ。」のところが、コンが風船のことを花とまちがえていてかわいいなと思いました。 ・りょう手で土をほり、かみづつみのねっこをあなにうめたり、水をあげたりしているところが、コンのやさしい気持ちがわかってすてきななと思いました。 ・コンが、「金いろの花だ。お日さまの花だ。」というところがよろこんでいるコンの気持ちがよくわかるから好きです。 ・「花いっぱいになあれ」と小学生がはじめにいていたことが、コンのおかげでかなったからこの言葉が好きです。 </div>							
まとめ	5 学習のまとめ・振り返り	◇自分がすきだと思った所とその理由をゆうびんカードに書く。	○自分がすきなところを文章から抜き出し、コンの気持ちを行動と会話から考えることができる。 読工 (ゆうびんカード)				
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>目指す児童の姿 (ふりかえり) わたしは、コンがさげんだ「すこいや金いろの花だ。」のところがすきです。りゅうは、わあわあないていたコンが、おどろいて、よろこんでいるのがうれしかったし、ひまわりが金色に見えるほどきれいだったのだとおもったからです。</p> </div>							
6 次時の計画	◇どくしよゆうびんカードを完成させることを確認する。						

12 板書計画

花 いっぱいに なあれ

ねがい

まつたに みよこ 文

めあて

ゆうびんはがきをかくために、すきなところを見つけ、なぜすきなかを考えよう。

いいゆめ↑おいしいものをたべた

うれしいきもち

ふうせんの花 生まれてはじめて

ハアツとためいき↑びっくり

「かれちゃうよ」

「ねっこちゃん、

土の中に入って・・・」

お水をかける

赤い花しぼむ

わあわあなく ↑かなしい、つらい

(金いろの花) がさく

目をこすって しっぽを立てて

「ほう」 ↑おどろき

「すごいや、金いろの花だ。うれしい

お日さまの花だ・・・。」 ↑よろこび

「いいゆめ」 ↑金いろの花がさいたゆめ

のはら中に大きな金いろのひまわりの花

ふりかえり

すきなところは、
ちがわかるからです。
です。コンの○○のきも